

7月2日 第三回令和弥生茶会 文月の席で茶道を体験

茶道江戸千家の佐藤好美さん(宗名は宗好、吹張)による「令和弥生茶会・文月の席」が同氏の自宅で開催され、村文化協会長の新木一雄さん(椽久保南部)や、画家の塚越仁慈さん夫妻(永井)など12人の来賓に、心を込めてたてられたお茶や老舗和菓子店「とらや」の和菓子などがふるまわれました。

茶会に参加した新木一雄さんは「私が愛好する盆栽と同じく、茶道でも空間を大切にしていることが感じられました」と話していました。



和やかな雰囲気の中行われた茶会

6月24日 常木地区で伝統行事 「なんまいだ」で無病息災祈る

常木地区で、なんまいだ(百万遍)が感染症対策を取りながら2日間行われました。無病息災を祈願し、農作物に被害をもたらす害虫を追い払うこの伝統行事。ボンゼン、鉦、数珠を持った小学生13人が各家をまわり、大きな数珠を繰りながら「なんまいだ、なんまいだ」と元気に唱えました。

子どもたちを率いた小澤愛麗凧さん(東小学校6年)は「みんなが楽しんで参加してくれて、やってよかったです。いい思い出になりました」と話していました。



なんまいだに参加した子どもたち

7月15日 川場リゾート(株)が寄贈 子どもたちにアスレチックの割引券

川場スキー場を運営する川場リゾート株式会社の松井雅也代表(川場村)が役場を訪れ、村内各小学校児童と3歳以上の保育園児にアスレチック施設の割引券を贈呈しました。川場村の道の駅「川場田園プラザ」に隣接して誕生したのが、この事前予約型のネットアスレチック施設。子どもから大人まで、跳ねたり寝転んだり、自分のペースで自由に過ごすことができます。

松井代表は「夏に楽しめる場として企画しましたので、ぜひ遊びに来てください」と話していました。



招待券を堤村長に手渡す松井代表

7月10日 社会人地区対抗野球大会 森下チームが熱戦制し優勝

第45回社会人地区対抗野球大会が村総合運動公園で行われました。大会には糸井、森下、川額チームが出場。リーグ戦で白熱した試合が行われ、森下チームが優勝しました。これにより、森下は群馬県町内対抗軟式野球大会利根沼田支部予選の出場権を獲得しました。森下の堤隆志監督は「昨年のリベンジを果たして優勝できてうれしい。チーム一丸となって郡大会も勝ち進み、再び県大会に出場したい」と話していました。

大会結果▶ 優勝：森下、準優勝：糸井、第三位：川額



白熱した試合(上)と、優勝した森下サイン

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

7月7日 農業委員と議会議員が奉仕作業 望郷ライン沿いを下草刈り

村農業委員会(林昭彦会長)が村議会議員と合同で、総合運動公園周辺と利根沼田望郷ライン沿いの下草刈りを行いました。この作業は、村民の財産である村有林の環境美化活動の一環として毎年行われています。



草刈りを行う農業委員の皆さん

7月1日 更生保護女性会 社会を明るくする運動

村更生保護女性会(廣田きぬえ会長)が「社会を明るくする運動」で第二保育園を訪れました。手づくりの和紙人形やメッセージを贈られた園児たちは、元気に歌を歌ってお礼の気持ちを伝えていました。



村内各施設を訪れた更生保護女性会の皆さん

7月7日、8日 花いっぱい運動 村づくり協力委員や議会、婦人会が花植え

村の景観を守る「花いっぱい」運動が今年も行われ、村づくり協力委員会(吉沢強会長)と村議会議員が合同で利根沼田望郷ライン沿いで、婦人会(竹之内美智枝会長)が総合運動公園入口で花植えを行いました。



婦人会の皆さん(8日)



村づくり協力委員の皆さん(7日)

7月7日 村内各保育園で「七夕まつり」や「夏まつり」 園児たちが夏を満喫



七夕まつり(上は第一保育園、下は第二保育園)

村内各保育園で、夏の風物詩である「七夕まつり」や「夏まつり」が行われました。七夕まつりでは歌やおゆうぎなどが披露され、夏まつりでは園児たちが「おみこし」を担ぎ園内を元気よく練り歩きました。



みこしを担ぐ園児たち(子育て保育園)